

## 長崎県統計課キャラクター 杉さん の紹介

### 【コンセプト】

- 統計調査を特に若年層にPRするために親しみやすいキャラクター！
- 長崎出身である日本近代統計の祖 杉亨二(すぎこうじ)氏(次のページで紹介)をモチーフ！
- 国勢調査だけでなく、統計調査全ての広報キャラクターとして活用！
- タスキやハチマキで調査ごとにPR！
- 統計調査(国勢調査)の歴史を感じる和服のデザイン！
- みんなの疑問を統計を使って解決することが大好きなおじいちゃん！



晩年の杉亨二氏の特徴である 白髪に  
白い髭と大きな耳

おおきな目  
一度に複数のデータを見ることができ、  
統計・分析に長けている。

杉亨二氏の活躍した時代に着ていた  
羽織袴(はおりはかま)を着用。  
羽織は、長崎県の色 あお

袴上部  
長崎県産品である ミルクセーキをイメージ

袴下部  
県民鳥の オシドリ、県民獣 九州シカの色を  
イメージ

## 日本近代統計の祖 杉亨二(すぎこうじ) 氏 について学ぼう!



杉亨二氏 について詳しく教えてください。

杉亨二氏は、日本の官庁統計の創設、普及に貢献した“近代統計の祖”と言われている長崎出身の方なんです。1828年9月10日長崎市の本籠町で生まれました。



すごいですね!長崎で統計をひろめたのですか?

江戸に出た後、勝海舟(かつかいしゅう)の私塾長を、その後開成所(今の東京大学)の教授を務めました。明治になると、徳川家といっしょに駿河国に移り住み、そこで統計調査をやろうとしました。



歴史上の人物が出てきますね。ずっと駿河にいたのですか?

その後、東京で明治政府の重要な役職(今の総務省統計局長)を任せられ、日本初の統計書「日本政表」(今の日本統計年鑑)をつくりました。1879年には「甲斐国現在人別調」という国勢調査の試験調査を行いました。晩年の杉氏は、国勢調査実現の為に力を尽くしますが、残念ながら国勢調査の実施を見ることはかなわず、1917年12月4日に亡くなりました。第一回国勢調査は、その3年後の1920年に実施され、日本の近代統計調査の幕開けとなりました。



すごい人が「長崎」出身なんです! 杉亨二氏 についてよくわかりました!